

《9月中旬～10月下旬のサンマ漁況の見通し》

- ・道東海域では、来遊量はゆるやかに増加し、9月中旬～下旬は低位水準であるが、10月上旬は中位水準となる。
- ・三陸海域では、10月中旬になると、低位水準であるが来遊がある。

9月9日に、一般社団法人漁業情報サービスセンターから「平成27年度第1回北西太平洋サンマ中短期漁況予報」が発表されましたので紹介します。

*****今後の見通し(平成27年9月中旬～10月下旬) 抜粋 *****

- ・対象海域: 道東海域、三陸海域
- ・対象漁業: さんま棒受網漁業
- ・対象魚群: 南下回遊群

1 道東海域

(1) 来遊量

来遊量はゆるやかに増加し、9月中旬～下旬は低位水準であるが、10月上旬は中位水準となる。10月中旬から減少を始め、10月中旬～下旬は低位水準となる。

(2) 漁場

9月中旬は、道東海域より北東側の色丹島南沖が主漁場である。道東海域では、9月中旬は落石南東沖に、9月下旬は落石南東沖～厚岸南沖に漁場が形成される。10月上旬は落石南東沖～釧路南沖で漁場が持続し、襟裳岬沖にも断続的に漁場が形成される。10月中旬～下旬は、落石南沖～襟裳岬沖で漁場が持続する。

2 三陸海域

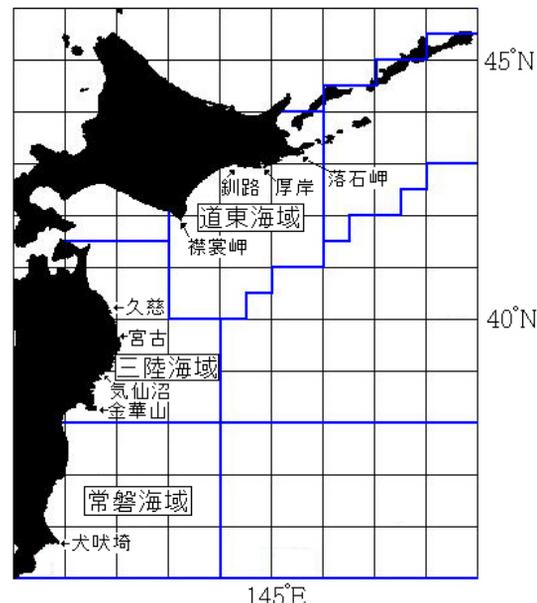
(1) 来遊量

10月中旬になると、低位水準であるが来遊がある。10月下旬は来遊量は増加するものの、低位水準である。

(2) 漁場

10月中旬は、三陸北部が漁場となる。10月下旬は、三陸南部まで漁場が広がる。

海 域		9月中旬	9月下旬	10月上旬	10月中旬	10月下旬
道東海域	来遊量	→	→	→	→	→
	動向	低位増加	低位増加	中位増加	低位減少	低位減少
	漁 場	落石沖	落石～厚岸沖	落石～釧路沖 襟裳岬沖	落石～ 襟裳岬沖	落石～ 襟裳岬沖
三陸海域	来遊量				→	→
	動向				低位増加	低位増加
	漁 場				北部	北部～南部



詳しくは下記ホームページをご覧ください
<http://www.jafic.or.jp/gyokaikyo/index.html>